日本新薬の歩み～京都の製薬会社として～

日本新薬は人々の健康と豊かな生活創りに貢献するため、研究開発型の新薬メーカーとして、いつの時代も必要とされる特長ある新しいくすりを創り続けてきました。その根底にあるのは、創業者の「日本人ののむ薬は、日本人の手で」という言葉にも込められたベンチャー精神。世界中の人々が健やかに“生きる”社会の実現を目指し、価値ある製品・サービスを提供していきます。

1966年度
51億6,400万円
売上50億円突破

創立期～1969年
医療用医薬品主体の事業基盤を確立

1992年度
505億3,400万円
売上500億円突破

1970年～1999年
グローバルな事業展開と創薬へ踏み出す

2013年度
765億1,700万円
売上750億円突破

2000年～2013年
経営環境の激変に対応できる基盤の強化

2017年度
1,014億4,800万円
売上1,000億円突破

2023年度
1,482億5,500万円
売上過去最高

2014年～現在
世界から評価される京都のグローバルヘルスケアカンパニーを目指して

1919年 創立
1940年 回虫駆除剤「サントニン」を発売
1957年 本社を現本社所在地（京都市南区）に移転
1961年 機能食品事業 開始
1962年 本社地区に新研究所（現・創薬研究所3号館）竣工
1964年 小田原工場（現・小田原総合製剤工場）竣工
1967年 東京支店 新社屋 竣工

1970年 食品技術研究所（現・食品科学研究所）竣工
1971年 東部流通センター開設
1982年 本社地区に中央研究所（現・創薬研究所1号館）竣工
1991年 東京支社開設
1991年 デュッセルドルフ事務所 開設
1994年 本社地区に西部創薬研究所2号館（現・創薬研究所2号館）竣工
1997年 ニューヨーク事務所 開設（1999年現地法人化/2002年ニュージャージー州移転）

2000年 経営理念および経営方針 制定
第一次中期経営計画スタート
2002年 日本新薬グループ行動規範制定
2005年 機能食品事業部を機能食品カンパニーに改称
2007年 世界最長のRNA合成技術を確立
2011年 北京事務所 開設
2012年 デュッセルドルフ事務所を英国に移転し、ロンドン事務所開設

2016年 本社地区に治験原薬製造棟竣工
2016年 機能食品カンパニーがサプリメント事業開始
2021年 中国現地法人「北京艾努愛世医薬科技有限公司」「天津艾努愛世医薬有限公司」設立
2023年 米国創薬拠点「Innovation Research Partnering」開設
2024年 小田原総合製剤工場　核酸原薬精製棟竣工

創立期～1969年

1940年に国産化を果たした回虫駆除剤「サントニン」は、国民の回虫感染率低下に大きく貢献し、それにより業績も伸展しました。1960年代には、新薬創製のための新研究所竣工などの研究開発体制拡充や海外企業との提携による製品の導入で、医療用医薬品を多角化するとともに機能食品事業を開始しました。小田原工場の竣工や営業拠点網も構築するなど事業基盤を確立しました。

1970年～1999年

研究開発では、非臨床試験の安全性・適切性を保証するGLPに適合した中央研究所（現・創薬研究所1号館）などを新設し、研究開発体制を強化していきました。1990年代にはドイツと米国に事務所を開設し、日米欧における事業展開でグローバル化を進めました。消化器、循環器、泌尿器、耳鼻科領域などに関連してユニークな新製品も上市し、大型製品育成に営業資源を集中させました。機能食品事業では健康食品素材の提供を開始しました。

2000年～2013年

経営理念と経営方針を明文化するとともに、中期経営計画を策定し、目指す姿を明確にしました。泌尿器や血液がん領域など注力領域を絞って経営資源を投入し、東部創薬研究所における核酸医薬品研究にも資源の投入を図りました。アンメットメディカルニーズを積極的に探り、大手企業が手掛けることの少ない領域において継続的に製品を上市し、その中から事業を牽引する製品も育ちました。

2014年～現在

第五次、第六次の5ヵ年中期経営計画の経営戦略テーマとして「独自性の追求」を掲げ、グローバル展開を果たした自社創薬の低分子医薬品と核酸医薬品を含む新製品を継続的に上市することで、独自基盤の構築を図ってきました。米国では、グループ会社のNS Pharmaによる自社販売を始めるなど、当社の新たなビジネスモデルの確立と発展につながりました。2024年度からは第七次5ヵ年中期経営計画がスタートし、将来の成長に向けた投資を先行させることで、引き続きグローバル事業を推進していきます。

ペイシェント・セントリシティを追い続ける創薬・研究開発

1940年
初の国産化を実現
回虫駆除の特効薬「サントニン」

1967年
当社の代表的な長寿製品の一つ
前立腺肥大症治療剤「エビプロスタット」

1971年
長きにわたる急性骨髄性白血病のキードラッグ
代謝拮抗性抗悪性腫瘍剤「キロサイド注」

1979年
日本で初めて頻尿の適応を取得
頻尿治療剤「ブラダロン」

1989年
ユニークな作用機序を有する自社創製品
胃潰瘍治療剤「ガスロンN」

2011年
日本で初めてMDSの適応を取得
骨髄異形成症候群（MDS）治療剤「ビダーザ」

2014年
新規作用機序を有するfirst in classの薬剤
前立腺肥大症に伴う排尿障害改善剤「ザルティア」

2016年
世界中で待望されていた希少疾患の自社創製品
肺動脈性肺高血圧症治療剤「ウプトラビ」

2020年
国産初の核酸医薬品として難病に立ち向かう
デュシェンヌ型筋ジストロフィー治療剤「ビルテプソ」